

actmore

アクトモア プロップ

・自走式・介助式・介助式 連動ブレーキ付き

アクトモア リヒト

・自走式・介助式

アクトモア リヒトプラス

・自走式・介助式



アクトモア リヒト

アクトモア リヒトプラス



アクトモア プロップ



取扱説明書

● 目次 ●		
「使用前の 準備」	安全に関する注意	2
	製品の特長・使用目的	7
	1.各部の名称	8
「使用 方法」	2.お使いになる前に	10
	3.操作方法および使用方法	11
	4.適合・調整	13
	5.ブレーキの使用方法	14
	6.アームサポート（肘置き）の 跳ね上げ方	16
	7.フットレグサポートの スイングアウト・着脱	17
「お 手入れ」	8.お手入れの方法	18
	9.保管についてのごお願い	18
「仕 様」	10.車いすの保守・点検	19
	11.車いすの主な乗りかた	21
	12.仕様	23

このたびは本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や使用方法などを記載しています。

- ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しく安全な取扱い方法をご理解してください。
- ご使用の際には本書を必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
- 本製品は、改良などにより本書の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

株式会社フロンティア





安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項を表示(シンボルマーク)で表しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

●エスカレーターでは使用しないでください。

介助者がいる場合でも、転倒などにより重大な事故のおそれがあります。



●取り扱いが理解出来ないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。

取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介助者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤作動、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。

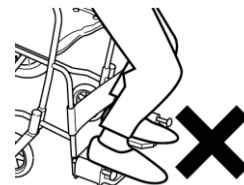
●車いすの改造や分解はしないでください。

強度や耐久性が低下して危険です。また、事故になるおそれがありますので絶対に改造・分解しないでください。

故意にシートを切断する等の加工を絶対にしないでください。シートを破断したり、加工した状態でご使用されますとフレームが歪んだり、破断する原因となります。また、シート取付けネジが歪んだり、欠落すると事故の原因になります。

●車いすに乗り降りの際は、決してフットサポート（足置き）の上に足を乗せないでください。

絶対にフットサポート（足置き）の上に乗って車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ち上がらないでください。車いすごと転倒し危険です。



●車いすを火気に近付けないでください。

シート部が燃えたり、熱くなりプラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。

●ポケットには1kg以上の重いものを入れないでください。

過度の荷物はバランスを崩し危険です。また、グリップ（押し手）に荷物を吊り下げますとバランスを崩し危険です。絶対に避けてください。



禁止



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- シート（座面）以外の部分に腰掛けないでください。
- 介助者は、絶対に車いすに乗って介助しないでください。
- 複数の人数で乗らないでください。
この車いすは一人用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因になります。



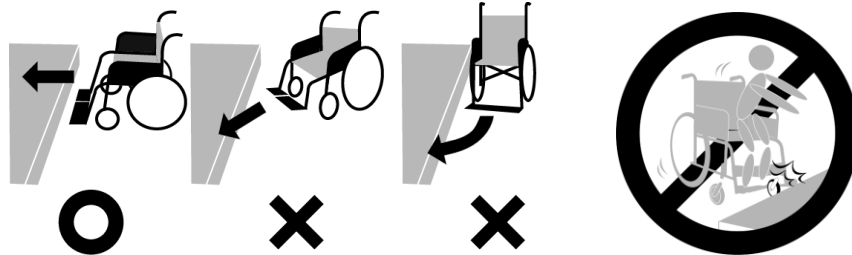
- 急な坂道では使用しないでください。
自走の場合は 5 度未満、介助の場合は 10 度未満の勾配で使用してください。
- グリップ(押し手)に寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。
- 本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。調整が必要な場合はご購入の販売店にご相談ください。

- 大きな段差を無理に乗り越えようとししないでください。
- 段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用して乗り越えてください。
決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。
また、フレーム及びキャスト車輪等の損傷を受けます。



- 発進するときや段差を乗り越えるときには、キャストのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、キャストタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャストが破損して事故の原因となるおそれがあり大変危険です。

禁止



- 車いすでの走行中は、体乗り出さないでください。
車いすが不安定になり危険です。
- 車いすに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。
車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うと、車いすごと転倒し大変危険です。



- 車いす以外の目的に使用しないでください。
物品運搬・踏み台などに使用しないでください。
車いすの上に立ち上がらないでください。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- 車いすを持ち上げる場合、駐車ブレーキをかけ固定されているパイプをしっかり支えてください。

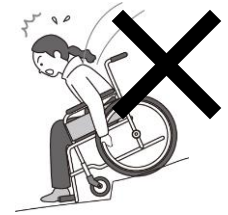
※バックサポートを持たないでください。この箇所を持ち上げるとグリップ（押し手）が車いすから外れるなど、大変危険です。
 ※使用者が乗ったまま持ち上げる場合は、3人以上で持ってしっかりと支えてください。使用者の体の一部を持たないでください。



- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

- 体が前のめりにならないよう十分ご注意ください。

段差や凹凸などのある路面等を走行するときは、特にご注意ください。



- 踏み切りの横断やエレベーターの乗り降りの際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。

斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。
 必ず介助者と一緒にわたってください。

- 坂道の上下りや段差のある場所では、必ず介助者に支えてもらって行ってください。

坂道を上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。
 坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。

[上り坂]



[下り坂]



- 傾斜地・坂道での走行は特にご注意ください。

- ・傾斜地や坂道では、車いすが予想外の方向に進む、スピードが出やすいなど大変危険です。
- ・車いすからずり落ちる、前へ倒れるなど、非常に不安定になり危険です。



- 車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。

- 走行中は、足を必ずフットサポート（足置き）の上に乗せてください。

足を地面に付けたままで走行したり、フットサポートから外して走行すると、フットサポートと地面の間に足が巻き込まれてケガをするおそれがあり危険です。
 （足でこいで操作する場合は例外です。）



必ず守る



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。



必ず守る

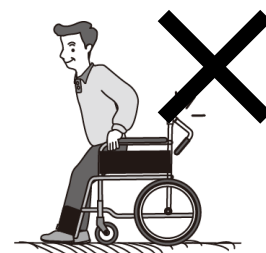
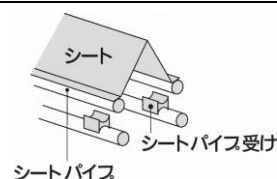
- 車いすの機能と操作をよく理解し、慣れた状態で介助を行ってください。
- 部品等が破損したり損傷がある場合は、すぐに部品を交換してください。
- 次のような場所では走行を避けてください。
 - ・交通量の多い道路 ・砂利道 ・凹凸のある道
 - ・ぬかるみ ・雪道 ・凍結路 ・防止柵のない側溝や路肩付近など
 - ・崖 ・川土手 ・海岸防波堤上 ・その他危険な場所
- 次のような場合は走行を避けてください。
 - ・夜間 ・雨天 ・濃霧 ・強風 ・その他危険が予想される場合
 夜間は側溝や障害物などが発見しにくくなり危険です。
雨天は路面が滑りやすくなり危険です。
- 次のような場所では厳重な注意が必要です。
 - 介助者が付き添い、使用者の体を支えるなど注意しながらご使用ください。
 - ・狭い道 ・踏み切り ・横断歩道 ・駅のホーム ・エレベーター
 - ・車いす対応の動く歩道 ・車いす対応の福祉車 ・その他危険が予想される場所



注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

- シートパイプがシート受けに収まっている事を確認してご使用ください。
万が一、シート受けから浮いた状態でご使用されますと、フレームが歪んだり、故障の原因となり事故につながるおそれがあります。
- 車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
- 背折れジョイント部、ブレーキなどの操作レバーに荷物などを掛けないでください。
- バックサポートを背折れしたまま使用しないでください。
後方へ転倒したり、背折れ金具でけがをするなど大変危険です。
- 自走式のハンドリムを取り外さないでください。



禁止

- タイヤをもって車輪を操作しないでください。
駐車ブレーキで指をはさむなど、大変危険です。
- 走行する際には片手で操作しないでください。
傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。
- 駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。
また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損するおそれがあります。
- 伸縮式の駐車ブレーキは伸ばした状態で走行しないでください。
壁や衣服などに引っかかりブレーキレバーが変形するおそれがあります。

⚠ 注意

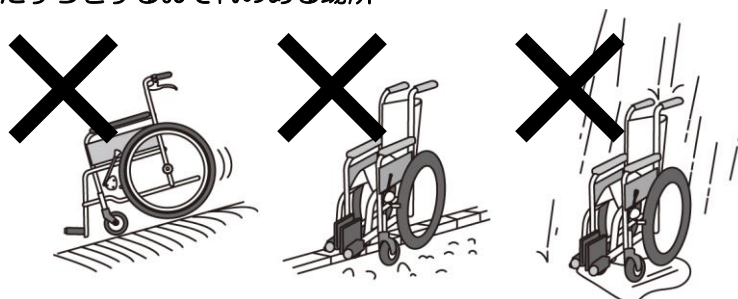
取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。



●下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。

事故やサビ・破損の原因になります。

- 車道に近いところ
- 路面に段差や凸凹のあるところ
- 海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ほこりの多い場所
- 非常口、消火器、消火栓の前
- 直射日光の当たる場所(車内も含む)
- 子供がいたずらをするおそれのある場所
- 人通りのあるところ
- 湿気の多いところ
- 雨、風のあたる場所
- 坂道
- 暑い日や寒い日の戸外
- ストープなど火気を使用し高温になる場所



●ご使用前には各部を点検してください。

車いすは“動くもの”ですから、長時間のご使用等により劣化が生じます。ご使用前の点検を励行し、異常が見つかったら直ちにご使用を中止してください。

●安定した姿勢で座ってください。

シート深くに座ってください。左右にかたよらずに座ってください。また、介助者は、使用者が安定した姿勢で座していることを確認してください。

●回転している車輪に指を挟み込まないように注意してください。

●駐車ブレーキは必ず手で操作してください。

足などで操作するとブレーキが破損するおそれがあります。

●介助者は、使用者が車いすに安全に座れていることを確認してから操作してください。

使用者の体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたりとはさまったりしないようご注意ください。



●車いすの乗り降りや移乗など車いすが不安定になりやすいときには、必ず2名以上の介助者が付き添ってください。

●最大体重 100kg を守ってご使用ください。

車いすに表示されている「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。

なお、この取扱説明書はイラストや写真が一部実車と異なる場合があります。

製品の特長・使用目的

- 本製品は、一人乗り用の車いすです。
- 本製品に搭乗しての移動と、休息を目的としています。
- フットサポート（足置き）の調整機能付きで、お体に合わせた調整が可能です。
- アクトモア プロップは、バックサポートの背張り調整機能付きで、お体に合わせた調整が可能です。
- 背折れ機能付きで、持ち運びの際にコンパクトになります。
- クッションが標準装備されています。
- ノンパンクタイヤ採用により、空気圧チェックやパンクの心配がありません。
- 介助ブレーキ付きで、介助者の方に安心して操作していただけます。
- アクトモア リヒトプラスは、体格に合わせて座幅を 38cm、40cm、42cm よりお選びいただけます。
 - また、跳ね上げ式のアームサポート（肘置き）とスイングアウト式のフットレックサポートで、移乗の際の動作をラクにします。

<自走式>

- 使用者が自らハンドリムを操作したり、足で床を蹴って移動することができます。
- この車いすは、特別な身体保持具、バックサポートの角度調整、座位の姿勢変換（昇降、旋回等）等の機構がない標準形の自走式車いすです。また、スポーツ用、入浴用等の特殊な使用目的のものではありません。
- ご利用当初はこの標準形が適しても、体型や身体状況などの変化により、使用に適さなくなることがあります。

<介助式>

- 移動に必要な操作を介助者が行なう車いすです。
- この車いすは、バックサポートの角度調整、座位の姿勢変換（昇降、旋回等）等の機構がない標準形の介助用車いすです。
- ご利用当初はこの標準形が適しても、体型や身体状況などの変化により、使用に適さなくなることがあります。
- 連動ブレーキ付きは、片側をロックするだけで両輪のブレーキが掛けられます。また、介助者が後ろから足踏み操作でブレーキが掛けられます。

1.各部名称



アクトモア プロップ 介助式
連動ブレーキ付き



アクトモア リヒト 自走式



アクトモア リヒトプラス 自走式



2.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。

<装着品の確認>

- バックサポート、シート（座面）は、しっかりと固定されていますか？
- 背折れジョイント部は、しっかりと固定されていますか？
- シート（座面）はしっかりと開いていますか？

<ブレーキの確認>

- 駐車ブレーキ及び介助用制動ブレーキが正しく作動しますか？
- ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？

<全体的に>

- ガタつきはありませんか？
- まっすぐに走りますか？
- 各部ボルトやナットがゆるんでいませんか？
- ワイヤーが部品等に引っかかかっていませんか？
- キズや亀裂、変形や劣化などはありませんか？

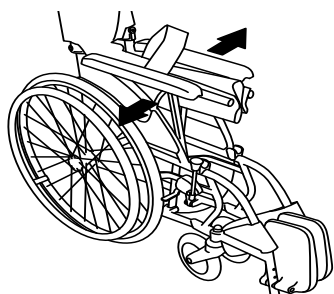
<介助者の方へ>

- 長期間の使用や使用頻度によっては、キャスト、フットレッグサポート、アームサポート等の劣化がすすむことがあります。使用前点検を行ってください。異常がある場合は、使用を中止してください。
- 次のような場所では必ず介助者が付き添い、使用者の体を支えるなど転倒防止に努めてください。
 - 急な坂道
 - 凹凸や段差のある場所
 - 踏み切りの横断、エレベーターの乗り降りなどの溝のある場所
 - その他危険が考えられる場所
- 車いすに乗って介助しないでください。
- 使用者の体の一部及び衣服が、タイヤに触れたり挟まったりしないよう注意してください。
- 使用者の体の一部及び衣服が、建物、通行者及び地面に触れたり挟まったりしないように注意してください。
- 重い荷物を車いすに載せたり、グリップ(押し手)に提げたりしないでください。

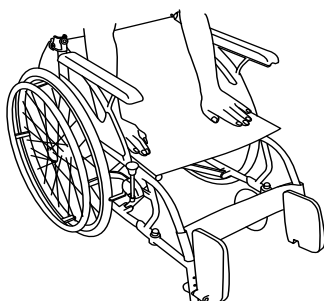
3.操作方法および使用方法

車いすの広げかた

①左右に広げます。



駐車ブレーキをかけます。車いすの前方または後方に立ち、左右の肘掛けを持って両側に軽く広げます。



片方のフレームを持ち上げて車輪を少し地面から浮かせ、シートパイプ部分を上から手で押し下げます。

⚠ 注意

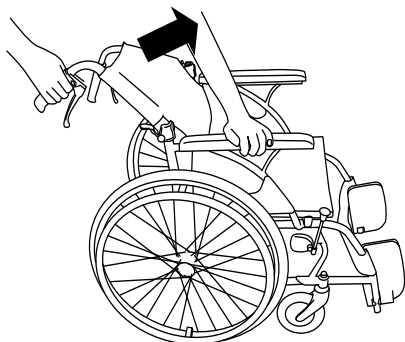
- シートパイプの横や下に手や指を置かないでください。
挟まってケガをするおそれがあります。

シート

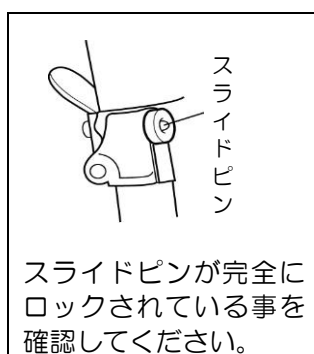
- バックサポートが張りすぎていることを確認し、シートパイプをシート受けに確実にに入れてください。
フレームが変形して、事故の原因となります。

シート
シートパイプ
シートパイプ受け

②背もたれを起こします。



車いすのグリップ(押し手)部分を持ち、上方(矢印の方向)へ引き起こすように持ち上げてください。
※このとき、駐車ブレーキを使用するか、片側の手で車いすが動かないように支えていてください。

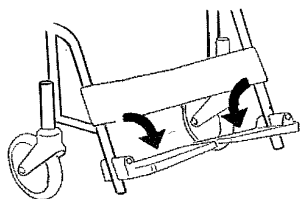


⚠ 注意

- 矢印の箇所に手や指を置かないでください。
挟まってケガをするおそれがあります。

- 背折れレバーが図の向きになっていることを確認して操作してください。

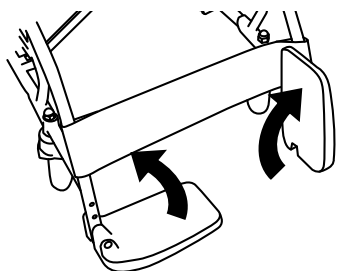
③フットサポート（足置き）を開きます。


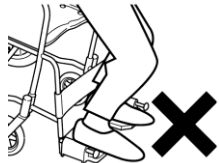


左右に跳ね上げられているフットサポート（足置き）を矢印の向きに下ろしてください。

車いすのたたみかた

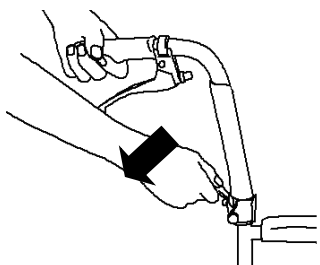
①フットサポート（足置き）を跳ね上げます。




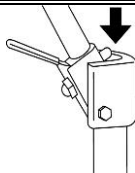
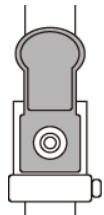
	警告
	車いすから降りる際、絶対にフットサポート（足置き）の上に乗らないで下さい。 車いすごと転倒し、大変危険です。

駐車ブレーキをかけ、フットサポート（足置き）を閉じるように上方へ（矢印の方向へ）跳ね上げます。※フットサポート（足置き）を内側にたおした状態のままだと、折りたたみが出来ません。折りたたみの際はフットサポート（足置き）が上方へ跳ね上げられていることを確認ください。

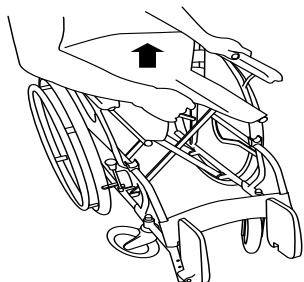
②背もたれを折りたたみます。




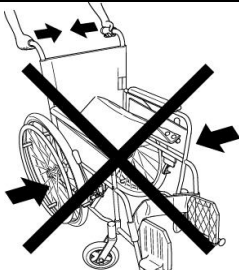
グリップ(押し手)を握り、一方の手で背折れジョイント部のレバーを後方へ引きながら(もしくは前方へ倒しながら)グリップを倒します。また、反対側も同様に倒してください。

	注意
	●矢印の箇所に手や指を置かないでください。 挟まってケガをするおそれがあります。
	●背折れレバーが図の向きになっていることを確認してください。

③シート（座面）を折りたたみます。

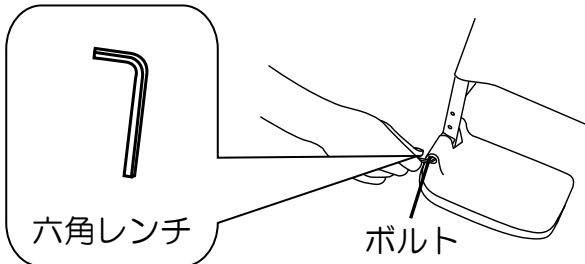


シート（座面）の前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。

	注意
	折りたたむ際に、グリップ(押し手)を持って左右から押し縮めないで下さい。 フレームの破損の原因となります。

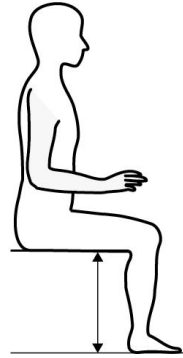
4. 適合・調整

☆フットサポート（足置き）の高さ調整方法



付属品の六角レンチを使って、フットサポート（足置き）を適当な高さの取り付け穴へ合わせた後、ボルトを完全に締めてください。

★ステップ高さ調整のめやす

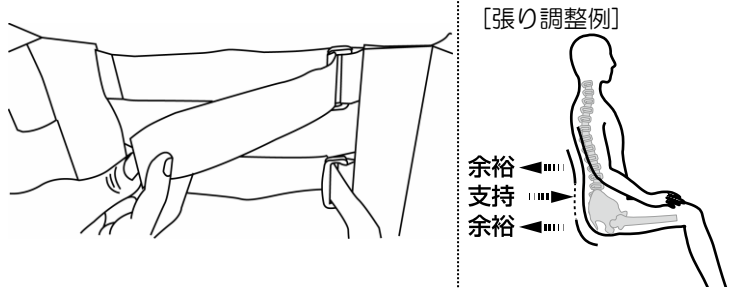


膝下からかかとまでの寸法をめやすに調整してください。

☆バックサポート（背シート）の調整（アクトモア プロップのみ）

この車いすのバックサポートは使用者の方の体型に合わせて調整できます。一番楽な姿勢が保持できるように調整してください。

①背クッションを取り外します。



注意

使用者が車いすに乗っている状態では、全ての面ファスナーを一度に外さないでください。
転倒するおそれがあり、大変危険です。

②調整ベルトの面ファスナーを外し、適当な長さに合わせます。

（部位によって張り具合を調整してください。）

③背クッションを取り付けます。

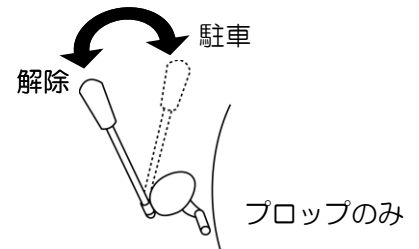
5. ブレーキの使用法

駐車ブレーキ

1. 駐車ブレーキの使いかた

ブレーキレバーを後方に引くとロックし、レバーを前方に倒すとロックが解除されます。

※車いすに乗り降りや一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。



2. 駐車ブレーキの延長

駐車ブレーキを長くすることで、軽い力でブレーキをかけることができます。

[アクトモア プロップ]

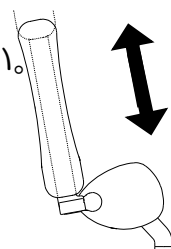
オプション（別売り）の延長ブレーキを取り付けて使用してください。

[アクトモア プロップ 介助式 連動ブレーキ付き、リヒト、リヒトプラス]

両側の駐車ブレーキは伸縮式ブレーキなので、

使用したいときにレバーを上方に引き上げると延長できます。

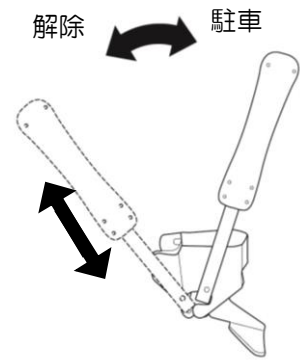
不要なときは下に押し下げて元の位置に戻してください。



左右連動ブレーキ（プロップ 介助式 連動ブレーキ付きのみ）

左右連動ブレーキの使いかた

- ①操作する側の駐車ブレーキレバーを上延ばさせます。
- ②延ばした方の駐車ブレーキレバーを後方へ引きます。
この時、他方の駐車ブレーキも連動して、
左右両輪ともロックされます。
- ③延ばした駐車ブレーキレバーを元の位置に戻します。



（解除するとき）

- ④操作する側の駐車ブレーキレバーを上延ばさせます。
- ⑤延ばした方の駐車ブレーキレバーを前方へ操作すると、
左右両輪ともブレーキが解除されます。
- ⑥延ばした駐車ブレーキレバーを元の位置に戻します。

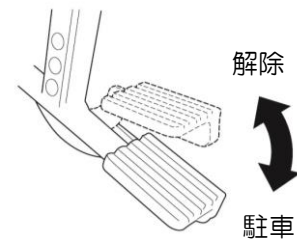
足踏みブレーキ（プロップ 介助式 連動ブレーキ付きのみ）

足踏みブレーキの使いかた

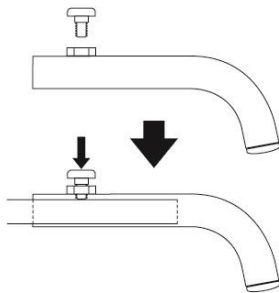
- ①足踏みブレーキペダルを踏むと左右の駐車ブレーキが連動して動き、
左右両輪ともロックされます。

（解除するとき）

- ②足踏みブレーキペダルを足の甲で上に押し上げますと、
左右両輪ともブレーキが解除されます。



転倒防止バー（オプション）の取り付けかた




フレーム奥まで転倒防止金具を差し込み、
ノブネジでしっかり固定します。

警告

- 使用前は両輪が確実にロックできるか確認を行ってください。
ブレーキの利きが弱い時、ブレーキが利かない時は販売店にご依頼ください。

注意

- 車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。
- 傾斜地や平坦でないところでは駐車しないください。
傾斜地やすべりやすい床面では駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。
- 左右の駐車ブレーキおよび足踏み駐車ブレーキは連動して動きますので、手や指など挟まないように操作してください。
- 足踏みブレーキペダルは履物をはかずに操作しないでください。
ケガをするおそれがあります。
- 足踏みブレーキペダルで連動ブレーキを操作する場合は、駐車ブレーキレバーが延長していないことを確認してください。
手や指など挟まれる可能性があります。
- 足踏みブレーキペダルで操作する場合は、操作後（足をどけた後）ペダルが戻ってこないことを確認下さい。
- ティッピング操作をする場合は足踏みブレーキレバーが取り付けされていない方で行ってください。
- 駐車ブレーキレバーおよび足踏みブレーキペダルは、操作時ならびにそれ以外の時も作動方向以外に力を加えないください。
また、必要以上に力を加えないください。レバーやブレーキが変形・破損するおそれがあります。
- 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。
ケガをするおそれがあります。

介助用制動ブレーキ

ブレーキレバーを握ると制動ブレーキがかかり、離すと解除します。



注意

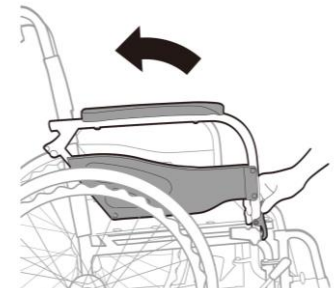
- ブレーキレバーは介助者の方が必ず両方同時にかけてください。
- 左右のブレーキが均等にしっかり利くことを確認してください。

6.アームサポート（肘置き）の跳ね上げかた【アクトモア リヒトプラス】

アームサポート（肘置き）を跳ね上げるとベッドなどへ移乗しやすくなります。

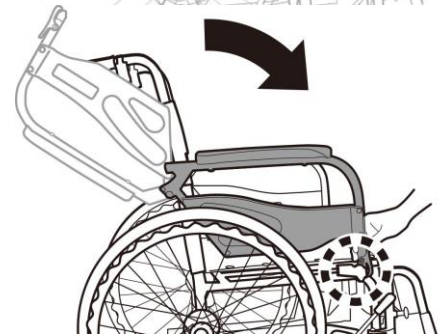
[跳ね上げる]

- ① レバーを右図の様に握り、ロックを解除します。
- ② ひじ掛けを矢印の方向に跳ね上げます。



[元に戻す]

- ① アームサポート（肘掛け）を矢印の方向に降ろし、一番下まで押し下げます。
- ② 確実にロックされていることを確認してください。



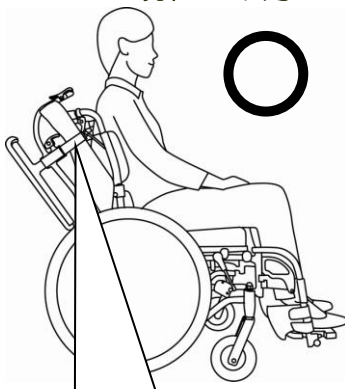
⚠ 注意

- アームサポート（肘置き）を跳ね上げたままの状態で使用しないでください。転倒など、思わぬ事故の原因となります。
- アームサポート（肘置き）に腕を載せたまま、アームサポート（肘置き）を跳ね上げないでください。
- アームサポート（肘置き）を跳ね上げたり、戻す際には、フレームとの隙間や車輪との隙間、ブレーキレバーとの隙間、跳ね上げ金具等で手や衣服を挟まないようご注意ください。
 - ・フレームとの隙間 ・介助用制動ブレーキレバーとの隙間
 - ・車輪との隙間 ・駐車ブレーキとの隙間 ・跳ね上げ金具
- アームサポート（肘置き）の跳ね上げは、必ず最後まで後ろに跳ね上げてください。
- ベッドなどに移乗する際は、跳ね上げたアームサポート（肘置き）に体が接触したり衣服がひっかからないようご注意ください。

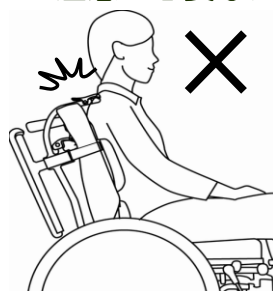


～正しい跳ね上げ方～

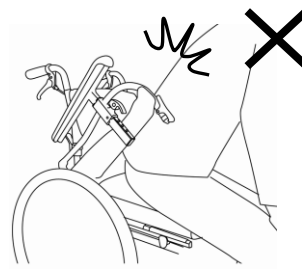
～注意が必要なアームサポートの跳ね上げ使用例～



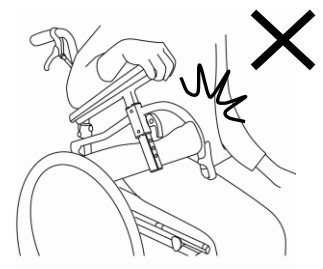
必ず最後まで
後ろへ跳ね上げる



アームサポートを最後まで跳ね上げてください。肩や腕に接触しケガをするおそれがあります。



アームサポートを途中でとめず最後まで跳ね上げてください。移乗時など、腰や臀部が接触しケガをするおそれがあります。

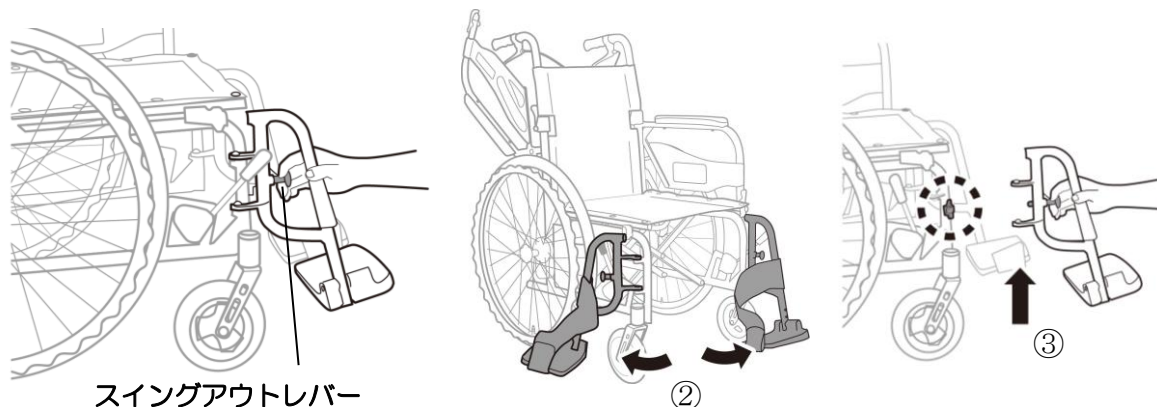


アームサポートを閉じるとき、脚や衣服を挟み込まないよう注意してください。接触しケガをするおそれがあります。

7. フットレッグサポートのスイングアウト・着脱のしかた

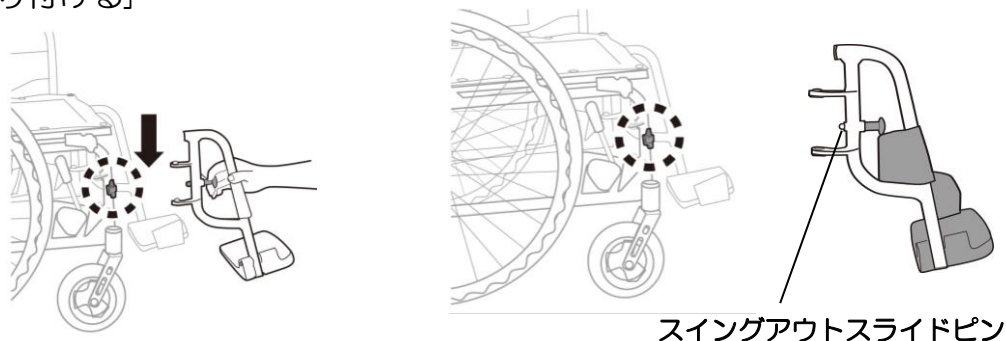
【アクトモア リヒトプラス】

[スイングアウト・取り外す]



- ① 駐車用ブレーキをかけます。
- ② スイングアウトレバーを引いてロックを解除し、外側に回します。
- ③ 外側に回した状態でレッグサポートを上引き抜きます。

[取り付ける]



- ① 駐車用ブレーキをかけます。
- ② フットレッグサポートを外側に回した状態で本体の取付位置に差込み、内側に回します。
- ③ フットレッグサポートを「カチッ」という音がしてスイングアウトスライドピンが差込穴に収まり固定されたことを確認してください。

注意

- スイングアウトや脱着の操作をする際には、フットレッグサポートや金具等で手や衣服をはさまないようにご注意ください。
- スイングアウトや脱着の操作をする際には必ず駐車ブレーキがかかっていることを確認してください。
急に車いすが動き事故の原因になりかねません。

8.お手入れの方法

★金属部分（フレーム、車輪など）

フレームなどの金属部は、乾いた布で拭き取ってください。駆動輪（主輪）のスポークのお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で十分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり付いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート類

シート部分をぬるま湯で染み込ませた布で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。市販されている防水加工用のスプレーなどを用いての防水加工をおすすめします。防水加工を行う場合は、ご使用になる防水加工用商品の説明書をよくお読みください。

<汚れがひどいとき>

- 汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
- しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
- 洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

注意

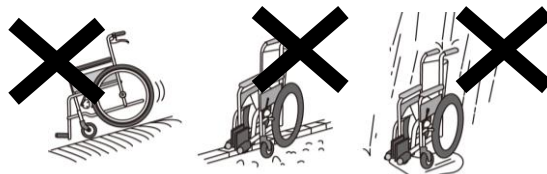
- 熱湯やオゾンで洗浄しないでください。
故障・変質・変色の原因となります。
- 中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外を使用した場合、変質・変色・傷みの原因となります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

9.保管についてのお願い

車いすはお手入れの後、安全な場所に保管してください。

注意

- 下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。
 - ・車道に近いところ
 - ・路面に段差や凹凸のあるところ
 - ・海沿いの屋外(潮風の当たる場所)
 - ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・子供がいたずらをするおそれのある場所
 - ・人通りのあるところ
 - ・湿気の多いところ
 - ・雨、風のあたる場所
 - ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
 - ・坂道
 - ・暑い日や寒い日の戸外
 - ・ほこりの多い場所



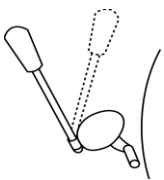
10.車いすの保守・点検

1ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

★タイヤの溝は十分認識できますか？

タイヤの減りが激しいものは走行性やブレーキの利きが悪くなるので交換が必要です。また、タイヤやキャストのひび割れにもご注意ください。

★駐車ブレーキはしっかり利きますか？



ブレーキの取付けネジがゆるむと駐車ブレーキの利きが弱くなります。ブレーキの取付けネジのゆるみ、ブレーキ本体のガタツキなどがないかご確認ください。もし、異常がございましたら、直ちにご使用をおやめ頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店までご連絡ください。



★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

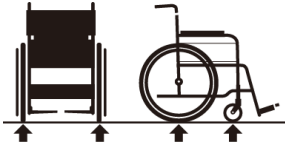
湿気の影響を受けたり長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損ない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★ネジのゆるみはありませんか？

ガタツキがある場合は、ネジのゆるみや脱落が考えられます。直ちにご使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

★四点接地していますか？



前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジのゆるみが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★きちんと折りたためますか？



折りたたみに異常がある場合、ネジのゆるみや可動部分の油切れが考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトはゆるんでいませんか？ゆるんでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★ハンドリムはしっかり固定されていますか？

ハンドリムにガタツキがある場合、取り付けネジのゆるみが考えられます。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★介助ブレーキはしっかり利きますか？

介助ブレーキがスムーズに作動すること、しっかりと利くことをご確認ください。
異常がある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

★ブレーキワイヤーは切れていませんか？

ブレーキが利かなかったり、事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



注意

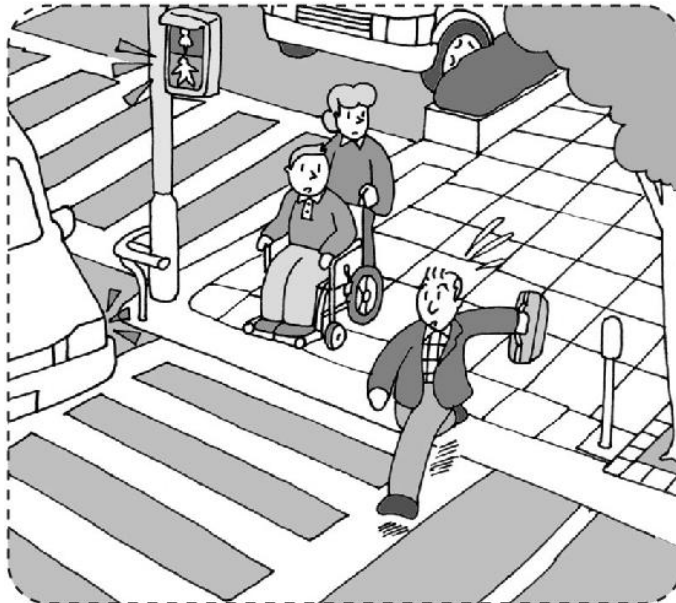
- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかったら、直ちにご使用を中止してください。

11.車いすの主な乗りかた

警告

- 下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
- いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- 車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



- 「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
- 信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

注意

- 車いすは乗り物ですから、定期点検が必要です。
長期の使用によって劣化が生じます。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

★転倒防止に十分配慮してください。

転倒防止バー(オプション)をご利用いただく、車いすの後方を支えるなどの方法があります。

★移乗 車いすに乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。（※使用者の身体状況によって、移乗方法が異なります。）

- ① 駐車ブレーキを両輪に掛けてください。
- ② フットサポート（足置き）を両方とも上げます。



- ④ 介助者が使用者の身体状況に合わせて、体を支えながら立ち上がらせます。
- ④ 移乗先の車いすへお尻を向けます。
- ⑤ 車いすのシート（座面）の奥まで座れるように、ゆっくりと腰を下ろしてもらいます。フットレッグサポートを戻し、フットサポート（足置き）を下ろして両足をのせます。

★外出 車いすの安全な使い方は、“ゆっくり”“確実に”が基本です。

[坂道]



<上り坂>

押す人は体を少し前に倒して、押し戻されないよう、一歩ずつしっかりと押します。



<下り坂>

坂を下るときはブレーキを軽く使いながら、後ろ向きに一歩ずつ下ります。

[段差のある場所]



<上がる時>

ティッピングレバーを踏んで前輪を上げて進み、続いて後輪を押し上げます。

<下るとき>

後ろ向きでまず後輪をおろし、ティッピングレバーを踏んで前輪を上げたまま後進し、ゆっくりと下ろします。
※階段では車いす全体を持ち上げてください。

[溝越え] ※あらかじめ溝の大きさを確認し安全に渡れる場合のみ実施してください。



- ① [段差のある場所]の要領でティッピングレバーを踏んでグリップ（押し手）を押し下げ、キャストを上げます。
※この時、必ず声をかけてから行ないます。

- ② キャスタを上げたまま前に進み、溝を越えた向こう側にキャストをゆっくり下ろします。

- ③ 次に後輪を持ち上げて前に進み、溝を完全に越えたところでゆっくりと後輪を下ろします。

12.仕 様

※仕様によって数値が異なります。

製品名	アクトモア リヒト	
仕 様	自走式	介助式
本体外形寸法（全長×全幅×全高）	95×59.5×89cm	94×55×89cm
座 幅	40cm	
前座高／後座高	43cm／40.5cm	
アームサポート（肘置き）高	24cm	
フットサポートシート間距離	33、35、37cm	
折りたたみ時の全幅	33cm	28cm
重 量	約 10.2kg	約 9.4kg
駆動輪（主輪）径	22 インチ	16 インチ
	ノンパンクタイヤ	
キャスト径	6 インチ（黒色ニューソフトタイヤ）	
使用者最大体重（積載物も含む）	100kg	
材 質	フレーム：アルミ、シート：ポリエステル	
標準装備	リバティークッション	
オプション	転倒防止バー	

製品名	アクトモア リヒトプラス	
仕 様	自走式	介助式
本体外形寸法（全長×全幅×全高）	95×59.5(57.5、61.5)×89cm	94×56.5(54.5、58.5)×89cm
座 幅	40 (38、42) cm	
前座高／後座高	43cm／40.5cm	
アームサポート（肘置き）高	24cm	
フットサポートシート間距離	32、34、36cm	
折りたたみ時の全幅	33cm	28cm
重 量	約 11.6kg	約 10.9kg
駆動輪（主輪）径	22 インチ	16 インチ
	ノンパンクタイヤ	
キャスト径	6 インチ（黒色ニューソフトタイヤ）	
使用者最大体重（積載物も含む）	100kg	
材 質	フレーム：アルミ、シート：ポリエステル	
標準装備	リバティークッション	
オプション	転倒防止バー	

製品名	アクトモア プロップ		
仕 様	自走式	介助式	介助式 連動ブレーキ付き
本体外形寸法（全長×全幅×全高）	96×60（※61）×87cm	96×56×86cm	96×61×86cm
座 幅	40cm		
前座高／後座高	43cm／40cm		
アームサポート（肘置き）高	22cm		
フットサポートシート間距離	30、32.5、35cm		
折りたたみ時の全幅	34cm	29cm	32cm
重 量	約 12.4kg （※約 12.7kg）	約 11.3kg （※約 11.2kg）	約 12.5kg
駆動輪（主輪）径	22 インチ	16 インチ	
	ノンパンクタイヤ		
キャスト径	6 インチ（黒色ニューソフトタイヤ）		
使用者最大体重（積載物も含む）	100kg		
材 質	フレーム：アルミ、シート：ポリエステル		
標準装備	オリジナルクッション 2		
オプション	転倒防止バー （介助式連動ブレーキ付きの場合、足踏みブレーキ機能は使えません）		

- この車いすは JIS T 9201:2006 に定める静的安定性試験において、10.1.2 a) の方法を用いて合格しております。
- 製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア
フクシのヨトハ
 フリー
 コール **0120-294-518**

福祉本部 〒261-0002
 千葉県千葉市美浜区新港42-4
 TEL.043-301-8338

●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店